

令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

令和5年8月備前市教育庁小中一貫教育課

目的：◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

実施日：令和5年4月18日（火）

実施校：市内小学校10校第6学年児童197人

市内中学校 5校第3学年生徒186人

調査：◇教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

1 学力調査結果の分析

<小学校>

【国語】

全体的には全国・県の正答率をやや下回っているものの、ほぼ同等の正答率である。

日常よく使われる敬語について問う問題や、文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる問題では正答率が全国・県をやや上回るなど、言葉の特徴や使い方に関する基礎的な理解が見られた。

ただ、情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使う問題、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかをみる問題では全国・県平均を下回るなどの課題が見られた。

また、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかをみるような基礎的な知識・技能を問う問題について、無回答率が県・全国と比較して高かった。第1学年及び第2学年では、文や文章の中で漢字を読むことや、文脈の中の意味と結び付けていくこと、第3学年及び第4学年では、漢字による熟語などの語句の使用が増える時期であるため、漢字辞典を使って漢字の読みや意味などを自分で調べる活動を積極的に取り入れ、習慣として定着するようにすることとなっている。そして、第5学年及び第6学年は、漢字による熟語などの語句の使用が一層増加する時期であるため、本設問にあるような「意外」、「以外」などの同音異義語に注意し、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにすることが大切である。

【算数】

全体的には全国・県の正答率を下回っている。

伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める問題の正答率は全国・県平均よりもやや上回る正答率であった。このことから、表をもとに問題場面を読み取り、きまりを見つけて課題解決しようとする力が概ね良好であるといえる。また、複数の問題での無回答率が全国・県を下回っており、全員参加の授業づくりに取り組んだ結果、学習に向かう意欲が高まっていると推測される。

ただ、図形に関する問題については全国・県を下回る傾向が見られた。

特に、台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題や、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題に大きな課題が見られた。図形の観察や操作活動などを通して図形の意味や性質を考えたり、図形の意味や性質を活用して面積などを比べたりするなど、算数的な活動を通して実感を伴った理解ができるような工夫が今まで以上に必要である。

<中学校>

【国語】

全体的には全国・県の正答率をやや下回っているものの、ほぼ同等の正答率である。

目的や場面に応じて質問する内容を検討したり、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問したりする問題などで正答率が県・全国を上回るなど、一定の授業改善の効果が見られた。

また、無回答率についても全体的に県・全国との差はなく、正答率の分布とあわせて考えても、一定の学力が身に付いていると推定される。

ただ、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることができるかどうかをみる問題や、文脈に即して漢字を正しく書く問題などに課題が見られた。書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることを意識させたり、辞書や1人1台端末等を積極的に活用して正しい漢字を選択して使用することを習慣付けたりするなど、他教科等の学習や日常生活の中でも意識して取り組むことが大切である。

【数学】

全体的には全国・県の正答率をやや下回っているものの、ほぼ同等の正答率である。

四分位範囲の意味を理解して求めたり、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明したりする問題の正答率が全国・県と比較して高かった。また、無回答率も全体的に全国・県との差はなかった。

ただ、空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる問題に大きな課題が見られた。小学校と同様に、図形の学習では、観察や操作などの活動を通して、実感を伴いながら理解できるようにすることが大切である。また、身の回りにある事象を図形として捉え考察する活動を通して、空間における平面についての理解をより一層深められるようにしたい。

【英語】

全体的に全国・県の正答率をやや下回っている。

社会的な問題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題の正答率が全国・県と比較して高かった。全体的に無回答率が全国・県を下回っており、英語学習への意欲向上が推測される。

「事実・情報を伝える」・「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し事実と考えを区別して読む問題や、社会的な話題について短い文章の要点を捉えることができるかをみる問題では、正答率が全国・県を下回った。書かれている英文に含まれている情報を、事実や考え、気持ちなど区別しながら読み進めたり、書き手が最も伝えたいことは何かを判断して捉えたりするなど、国語科の指導とも関連付けながら学習を進めていくことが一層必要と考えられる。

2 学校及び市教育委員会の取組

【学校】

○授業改善、及び計画訪問の実施による校内研修体制のより一層の充実

- ・市内中堅教諭の資質向上及び連携強化
- ・中堅教諭の指導力を発揮した校内研修体制の構築
- ・中堅教諭と指導主事が協力した若手教員の授業力向上を中心とした学校の組織力向上

○授業のユニバーサルデザイン化の実践

- ① 教科の本質へ向かう授業UD化に対する市内教員の共通理解
- ② ①を受けた指導主事による各校に対する継続的な支援・助言

○中学校区単位での学力向上に向けた小中一貫した課題解決の推進

- ・中学校区単位での学力的課題に対する共通理解と組織的対応

- 指導主事による若手教員を対象に授業改善のための指導・助言
- 補充学習・朝、昼、放課後等を有効に活用した補充学習の推進
- 家庭と連携し、授業と連動した家庭学習の内容充実と習慣化を推進

【教育委員会】

- 体制整備・ICT(電子黒板・デジタル教科書等)環境の整備
 - ・GIGA端末活用環境の整備
 - ・AIドリルパークと定着状況ウォームアップの活用推進
 - ・きめ細やかな指導を可能にする市費非常勤講師や教育支援員の配置
 - ・指導訪問等による学校の課題解決に向けた指導助言
- IB教育の導入
- 地域の教育力を生かし、公民館等で土曜日や長期休業中に補充学習を行う「備前まなび塾+」の実施
 - ・地域の教育力を生かし、授業支援や補充学習、環境整備、通学の見守り支援等を行う地域学校共同本部の活用

3 学力調査（教科に関する調査）

（1）平均正答率

小学校	国語	算数
備前市	64	56
岡山県	68	61
全国	67.2	62.5
県比較	▲ 4	▲5
国比較	▲ 3.2	▲ 6.5

中学校	国語	数学	英語
備前市	68	48	40
岡山県	70	51	44
全国	69.8	51.0	45.6
県比較	▲2	▲3	▲4
国比較	▲1.8	▲3	▲5.6

<教科ごとの総問題数と正答率の関係>

【小学校】

国語…全14問（正答数1問の差＝正答率約7.1ポイントの差）

算数…全16問（正答数1問の差＝正答率約6.3ポイントの差）

【中学校】

国語…全15問（正答数1問の差＝正答率約6.7ポイントの差）

算数…全15問（正答数1問の差＝正答率約6.7ポイントの差）

英語…全17問（正答数1問の差＝正答率約5.9ポイントの差）

◆同一集団の平均正答率の経年変化

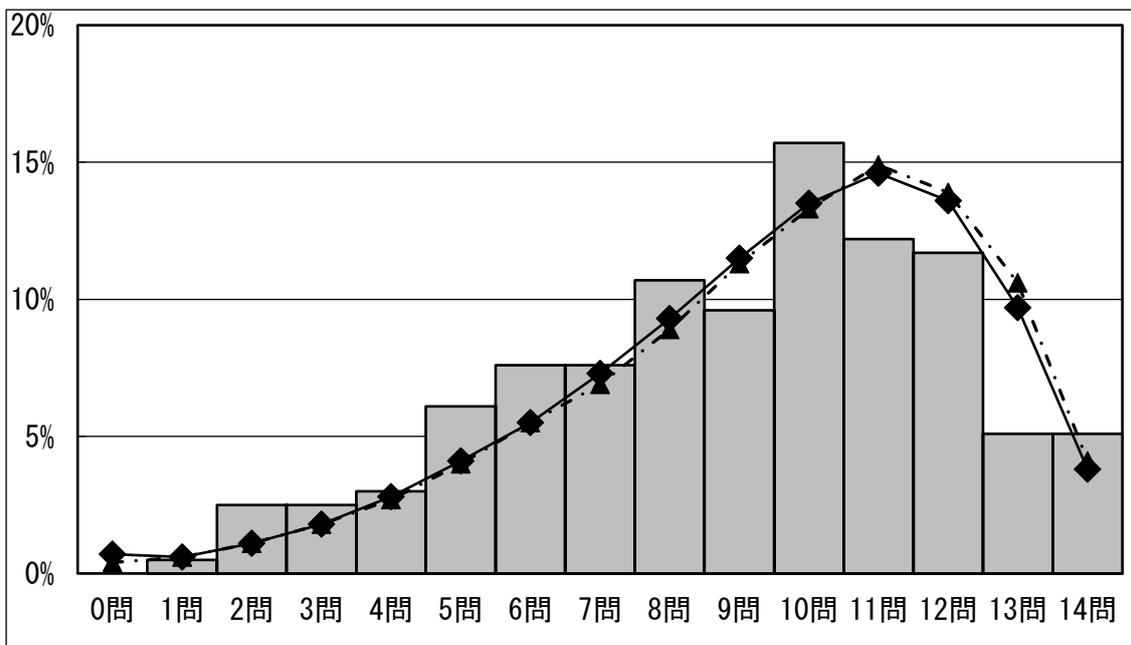
令和2年度全国学力・学習状況調査については、新型コロナウイルス感染症にかかるその後の状況及び学校教育への影響等を考慮し実施していないため、経年変化を見取ることはできない。

(2) 正答数分布 [小中教科別] 縦軸：割合 (%) 横軸：正答数 (問)

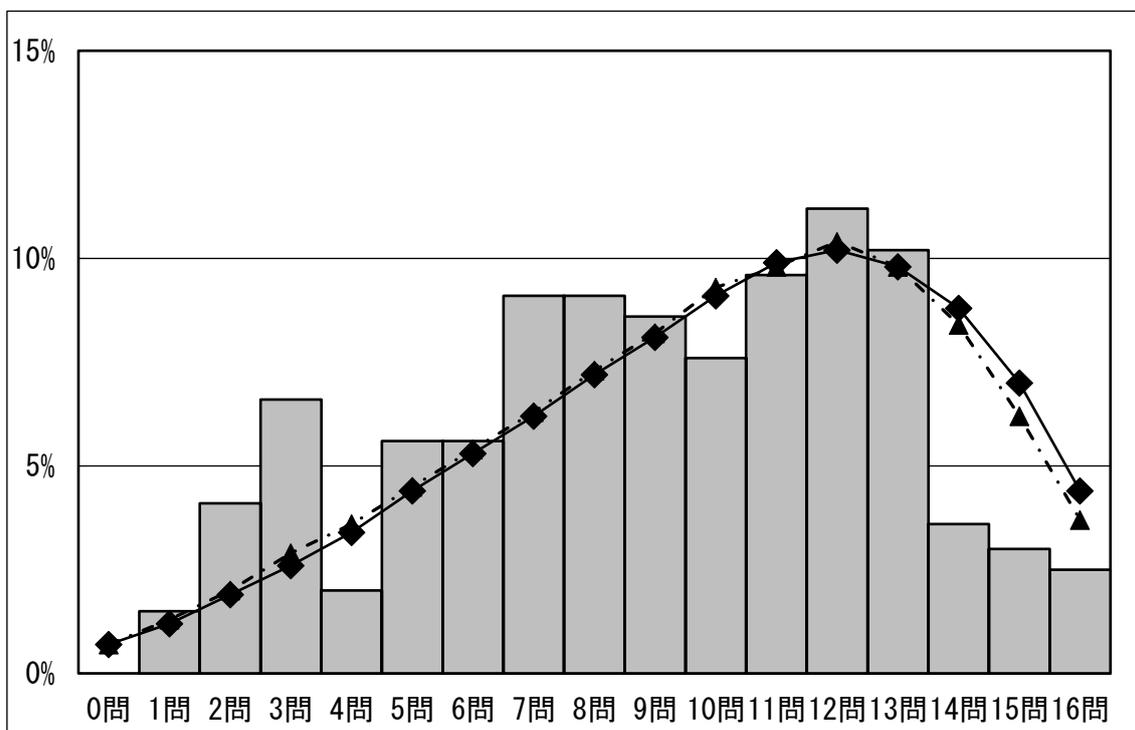
市 県 全国

【小学校】

国語

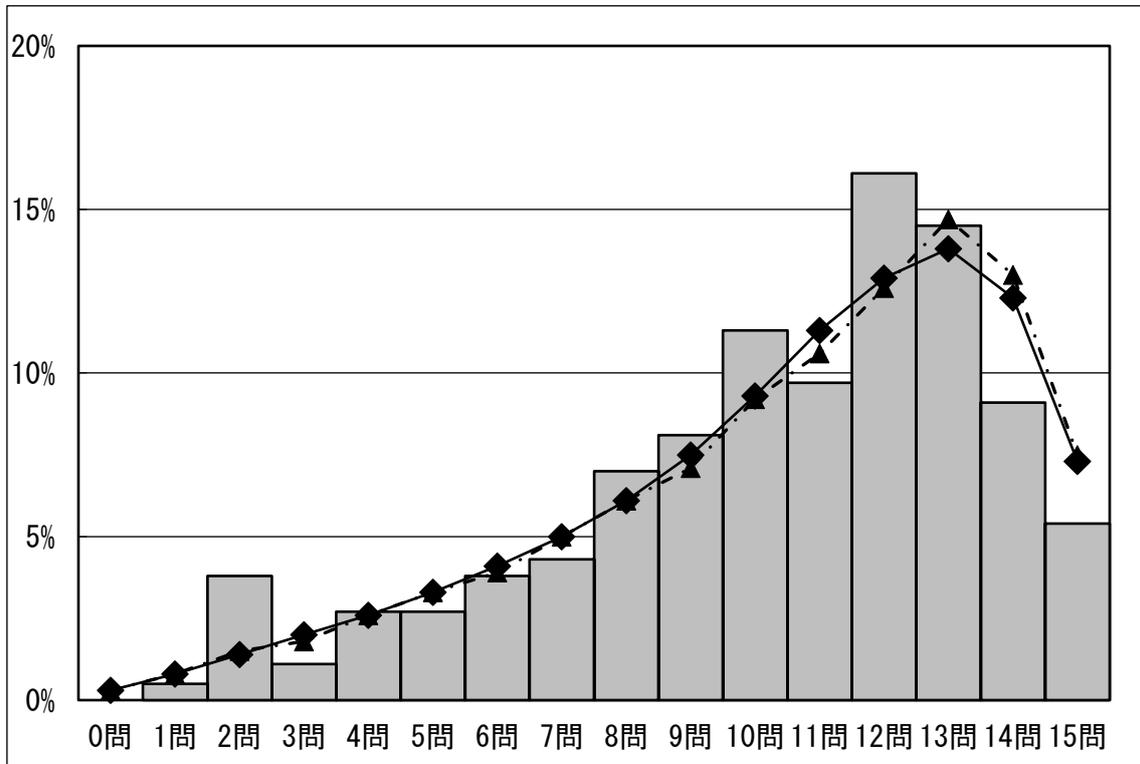


算数

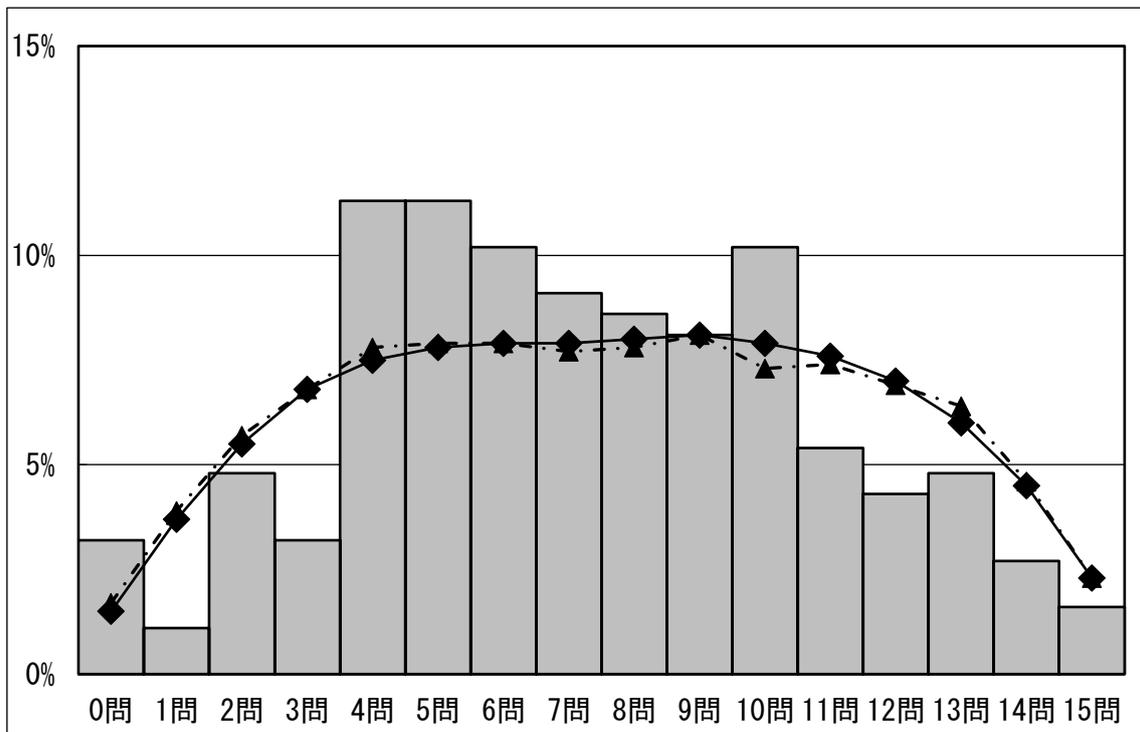


【中学校】

国語

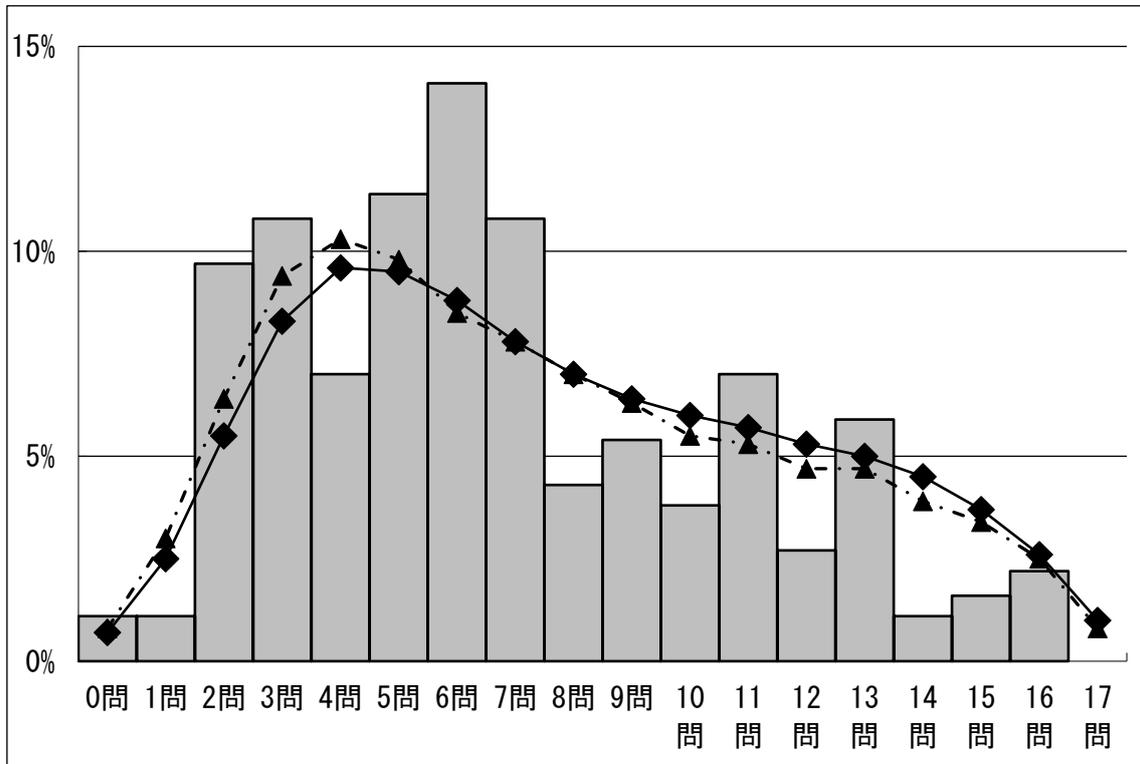


数学



【中学校】

英語

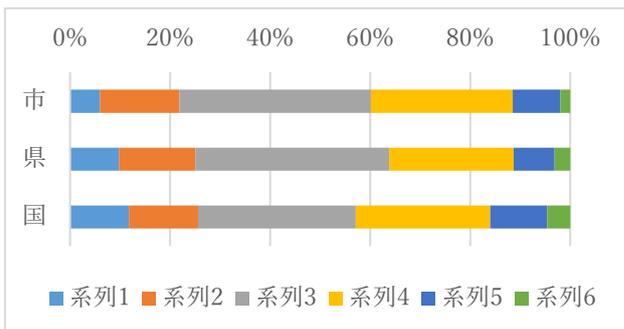


4 質問紙調査（主な項目のみ）

A 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師、インターネットを活用した学びを含む。）

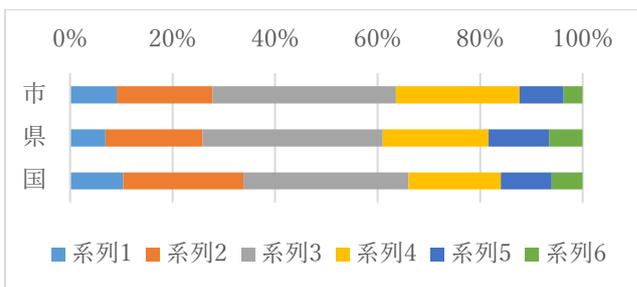
1.3時間以上 2.2時間以上3時間より少ない 3.1時間以上、2時間より少ない 4.30分以上1時間より少ない 5.30分より少ない、
6.全くしない

【小学生】



系列	1	2	3	4	5	6
市	6.0	15.9	38.3	28.4	9.5	2.0
県	9.8	15.3	38.7	24.9	8.2	3.1
国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6
県比較	▲ 3.8	0.6	▲ 0.4	3.5	1.3	▲ 1.1
国比較	▲ 5.8	2.1	6.8	1.5	▲ 1.9	▲ 2.6

【中学生】



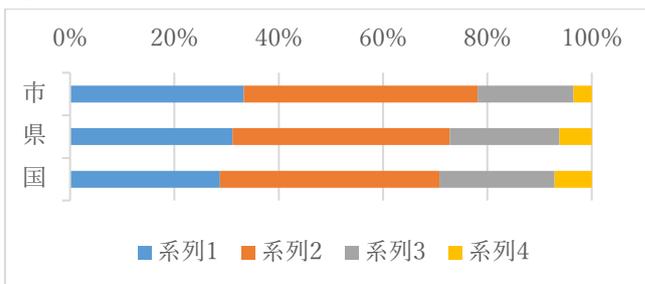
系列	1	2	3	4	5	6
市	9.1	18.7	35.8	24.1	8.6	3.7
県	6.9	18.9	35	20.6	11.8	6.5
国	10.3	23.4	32.1	18	9.9	6
県比較	2.2	▲ 0.2	0.8	3.5	▲ 3.2	▲ 2.8
国比較	▲ 1.2	▲ 4.7	3.7	6.1	▲ 1.3	▲ 2.3

A 1時間以上家庭で勉強する割合（1+2+3）は、小学校では全国を3.1ポイント上回り、中学校では2.2ポイント下回っている。

B 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

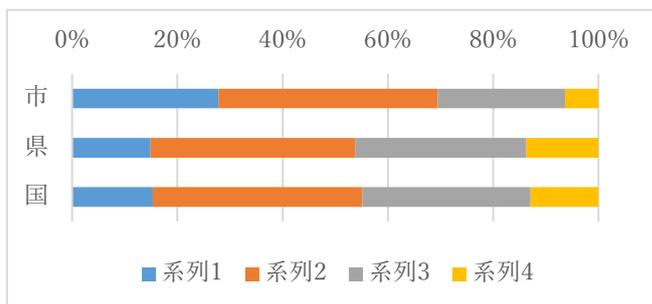
1.している 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない

【小学生】



系列	1	2	3	4
市	33.3	44.8	18.4	3.5
県	31.1	41.6	21.0	6.2
国	28.7	42.0	22.1	7.1
県比較	2.2	3.2	▲ 2.6	▲ 2.7
国比較	4.6	2.8	▲ 3.7	▲ 3.6

【中学生】



系列	1	2	3	4
市	27.8	41.7	24.1	6.4
県	14.9	38.8	32.5	13.7
国	15.3	39.7	31.9	12.9
県比較	12.9	2.9	▲ 8.4	▲ 7.3
国比較	12.5	2.0	▲ 7.8	▲ 6.5

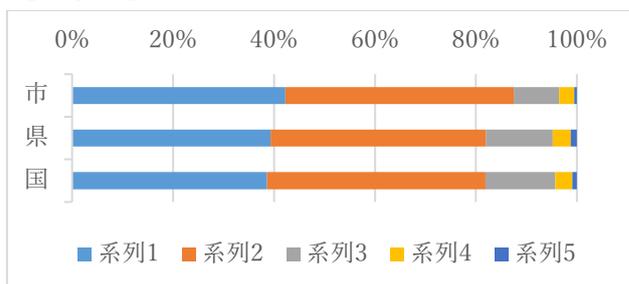
B 肯定群の割合は、小学校では国を7.4ポイント、中学校では14.5ポイント上回っている。

C 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか（無回答除く）。

1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

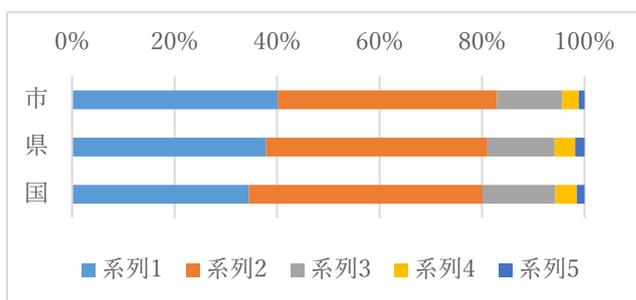
5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない。

【小学生】



系列	1	2	3	4	5
市	42.3	45.3	9.0	3.0	0.5
県	39.3	42.6	13.2	3.6	1.2
国	38.6	43.2	13.8	3.4	0.9
県比較	3.0	2.7	▲ 4.2	▲ 0.6	▲ 0.7
国比較	3.7	2.1	▲ 4.8	▲ 0.4	▲ 0.4

【中学生】



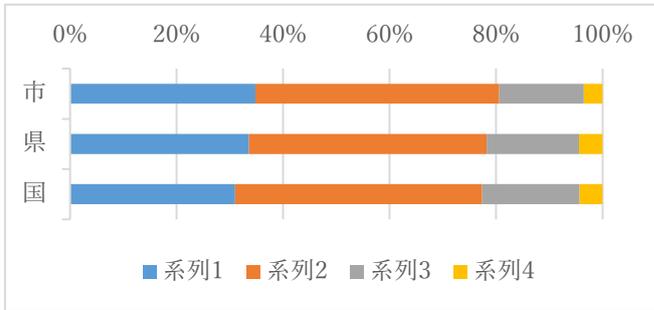
系列	1	2	3	4	5
市	40.1	42.8	12.8	3.2	1.1
県	37.6	42.9	13.0	4.0	1.8
国	34.3	45.4	14.1	4.2	1.5
県比較	2.5	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.8	▲ 0.7
国比較	5.8	▲ 2.6	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 0.4

C 肯定群（「できている」「どちらかといえばできている」の計）の割合は、小学校で全国を5.8、中学校で3.2ポイント上回っている。

D 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

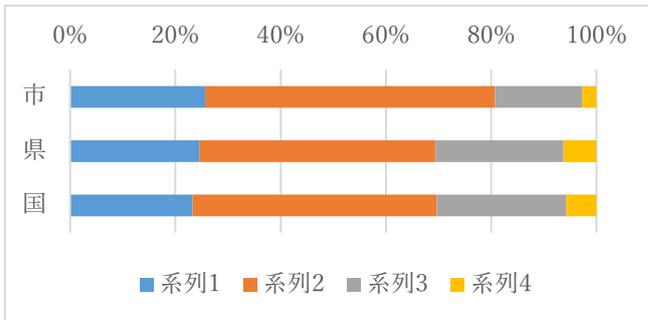
1 できている 2 どちらかといえばできている 3 あまりできていない 4 全くできていない

【小学生】



系列	1	2	3	4
市	34.8	45.8	15.9	3.5
県	34.2	45.5	17.7	4.5
国	31.0	46.4	18.3	4.3
県比較	0.6	0.3	▲ 1.8	▲ 1.0
国比較	3.8	▲ 0.6	▲ 2.4	▲ 0.8

【中学生】



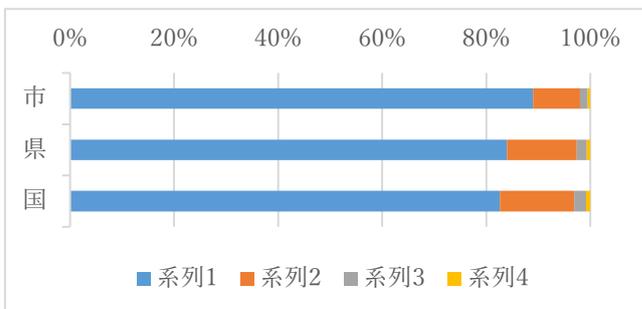
系列	1	2	3	4
市	25.7	55.1	16.6	2.7
県	24.5	44.5	24.2	6.2
国	23.1	46.1	24.4	5.7
県比較	1.2	10.6	▲ 7.6	▲ 3.5
国比較	2.6	9.0	▲ 7.8	▲ 3.0

D 肯定群（「できている」「どちらかといえば、できている」の計）の割合は、小学校学校で全国を3.2、中学校で11.6ポイント上回っている。

E いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

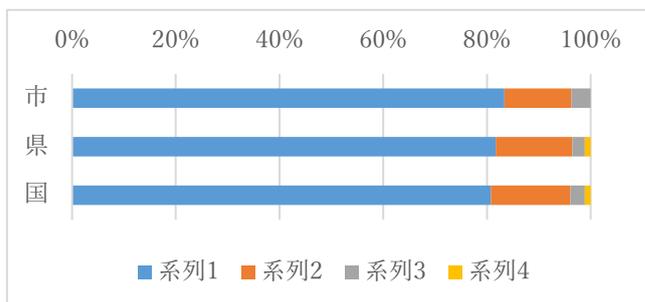
1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 あまりそう思わない 4 全そう思わない

【小学生】



系列	1	2	3	4
市	89.1	9.0	1.5	0.5
県	83.8	13.4	1.9	0.7
国	82.6	14.3	2.3	0.8
県比較	5.3	▲ 4.4	▲ 0.4	▲ 0.2
国比較	6.5	▲ 5.3	▲ 0.8	▲ 0.3

【中学生】



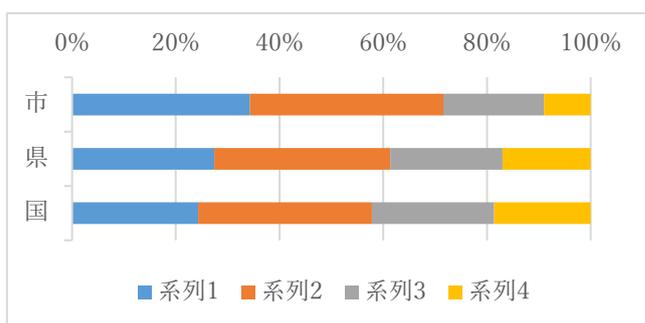
系列	1	2	3	4
市	82.9	12.8	3.7	0
県	81.2	14.7	2.4	1.1
国	80.3	15.2	2.8	1.1
県比較	1.7	▲ 1.9	1.3	▲ 1.1
国比較	2.6	▲ 2.4	0.9	▲ 1.1

E 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校・中学校ともにほぼ同等となっている。

F 今すんでいる地域の行事に参加していますか。

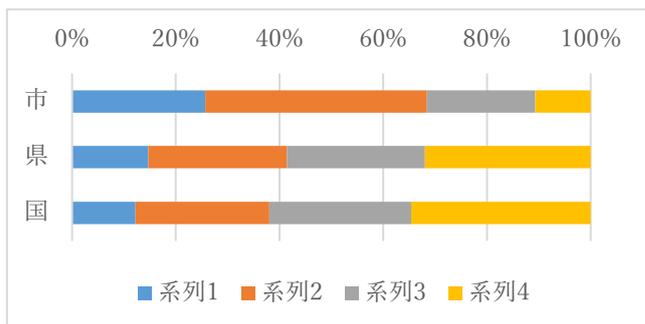
1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	34.3	37.3	19.4	9.0
県	27.4	33.9	21.6	17.0
国	24.3	33.5	23.6	18.6
県比較	6.9	3.4	▲ 2.2	▲ 8.0
国比較	10.0	3.8	▲ 4.2	▲ 9.6

【中学生】



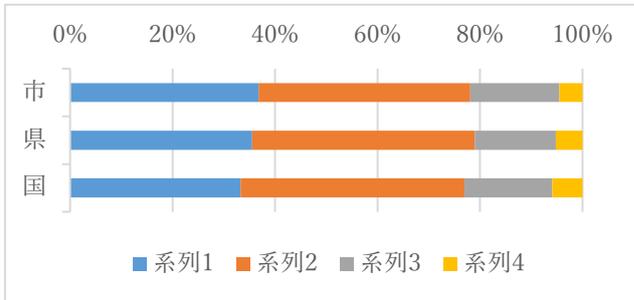
区分	1	2	3	4
市	25.7	42.8	20.9	10.7
県	14.7	26.7	26.6	31.9
国	12.2	25.8	27.3	34.6
県比較	11.0	16.1	▲ 5.7	▲ 21.2
国比較	13.5	17.0	▲ 6.4	▲ 23.9

F 肯定群（「している」「どちらかといえば、している」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では13.8ポイント、中学校では30.5ポイントと大きく上回っている。

G 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

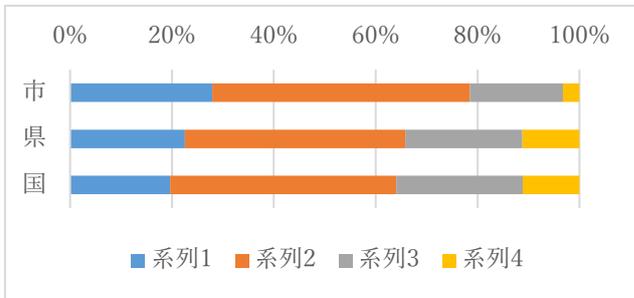
1 ある 2 どちらかといえば、ある 3 あまりない 4 全くない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	36.8	41.3	17.4	4.5
県	35.5	43.4	15.8	5.2
国	33.2	43.6	17.1	5.9
県比較	1.3	▲ 2.1	1.6	▲ 0.7
国比較	3.6	▲ 2.3	0.3	▲ 1.4

【中学生】



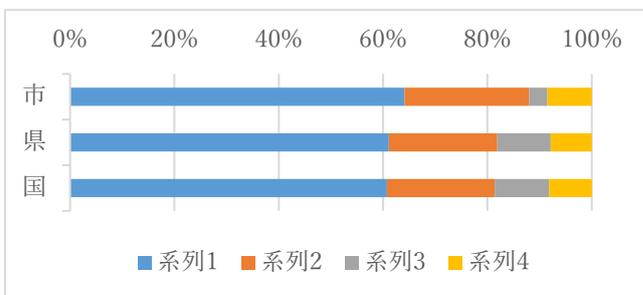
区分	1	2	3	4
市	27.8	50.3	18.2	3.2
県	22.5	43.2	22.9	11.2
国	19.6	44.3	24.8	11.1
県比較	5.3	7.1	▲ 4.7	▲ 8.0
国比較	8.2	6.0	▲ 6.6	▲ 7.9

G 肯定群（「ある」「どちらかといえば、ある」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では1.3ポイント、中学校では14.2ポイントと特に中学校は大きく上回っている。

H 将来の夢や目標を持っていますか。

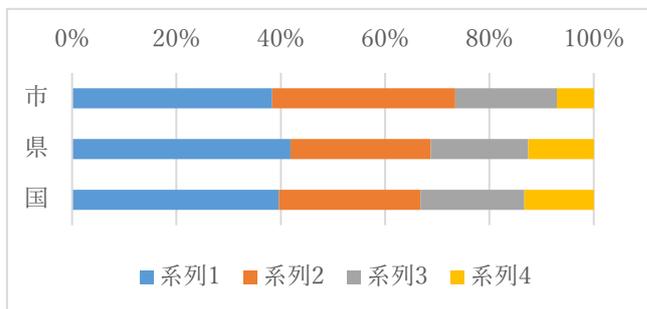
1 そう思う2 どちらかといえば、そう思う3 あまりそう思わない4 全そう思わない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	64.2	23.9	3.5	8.5
県	61.1	20.8	10.2	7.9
国	60.8	20.7	10.4	8.2
県比較	3.1	3.1	▲ 6.7	0.6
国比較	3.4	3.2	▲ 6.9	0.3

【中学生】



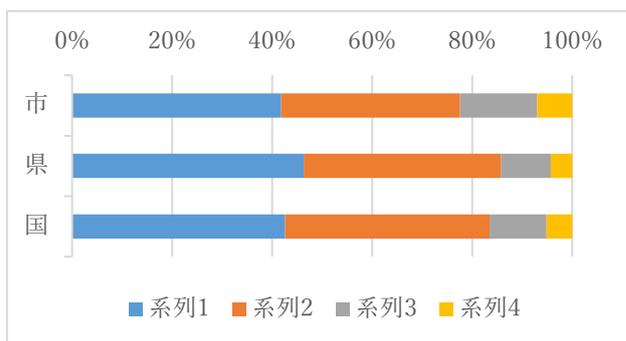
区分	1	2	3	4
市	38.0	34.8	19.3	7.0
県	41.6	26.7	18.5	12.5
国	39.4	26.9	19.8	13.2
県比較	▲ 3.6	8.1	0.8	▲ 5.5
国比較	▲ 1.4	7.9	▲ 0.5	▲ 6.2

H 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では6.6ポイント、中学校では6.5ポイント上回っている。

I 自分には、よいところがあると思いますか。

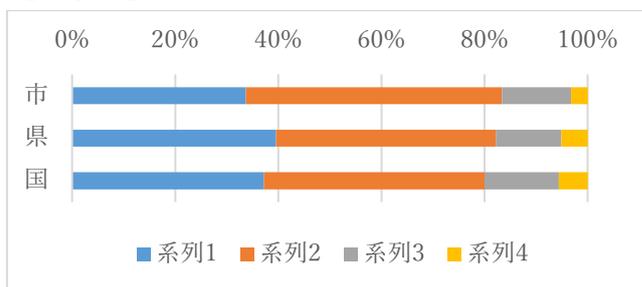
1 そう思う2 どちらかといえば、そう思う3 あまりそう思わない4 全そう思わない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	41.8	35.8	15.4	7.0
県	46.3	39.5	9.9	4.3
国	42.6	40.9	11.4	5.1
県比較	▲ 4.5	▲ 3.7	5.5	2.7
国比較	▲ 0.8	▲ 5.1	4.0	1.9

【中学生】



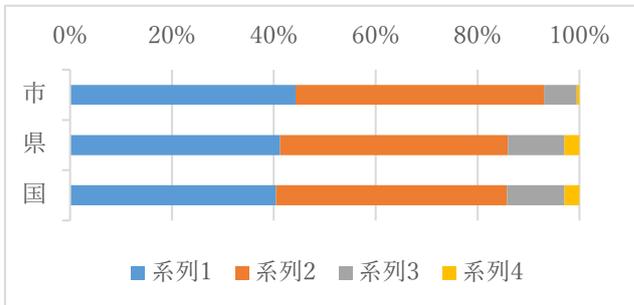
区分	1	2	3	4
市	33.7	49.7	13.4	3.2
県	39.5	42.5	12.7	5.1
国	37.2	42.8	14.4	5.6
県比較	▲ 5.8	7.2	0.7	▲ 1.9
国比較	▲ 3.5	6.9	▲ 1.0	▲ 2.4

I 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では5.9ポイント下回り、中学校では3.4ポイント上回っている。

J 国語の授業の内容はよくわかりますか。

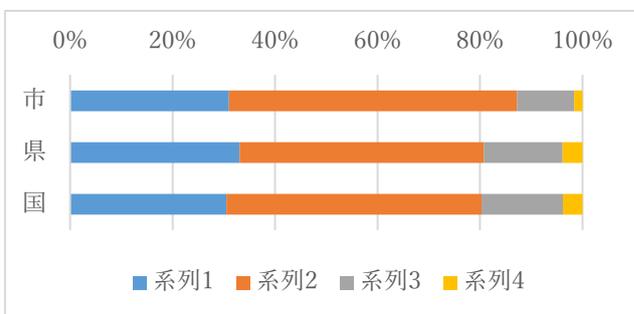
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	44.3	48.8	6.5	0.5
県	41.2	44.7	11.1	2.9
国	40.4	45.3	11.3	2.9
県比較	3.1	4.1	▲ 4.6	▲ 2.4
国比較	3.9	3.5	▲ 4.8	▲ 2.4

【中学生】



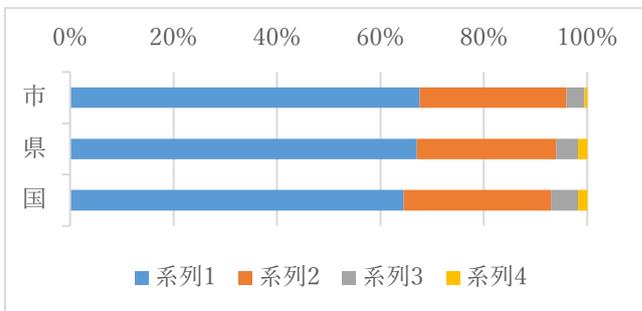
区分	1	2	3	4
市	31.0	56.1	11.2	1.6
県	33.0	47.5	15.3	3.9
国	30.4	49.6	15.8	3.8
県比較	▲ 2.0	8.6	▲ 4.1	▲ 2.3
国比較	0.6	6.5	▲ 4.6	▲ 2.2

J 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では7.4ポイント、中学校では7.1ポイント上回っている。

K 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

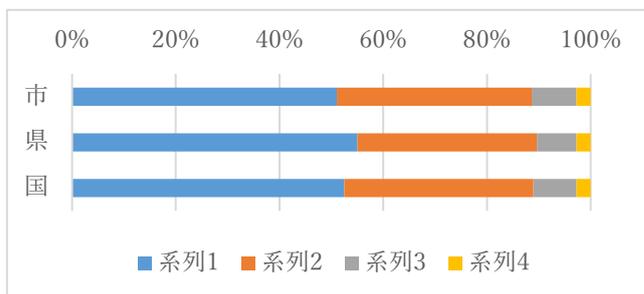
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	67.7	28.4	3.5	0.5
県	67.0	26.9	4.2	1.8
国	64.4	28.4	5.2	1.8
県比較	0.7	1.5	▲ 0.7	▲ 1.3
国比較	3.3	0.0	▲ 1.7	▲ 1.3

【中学生】



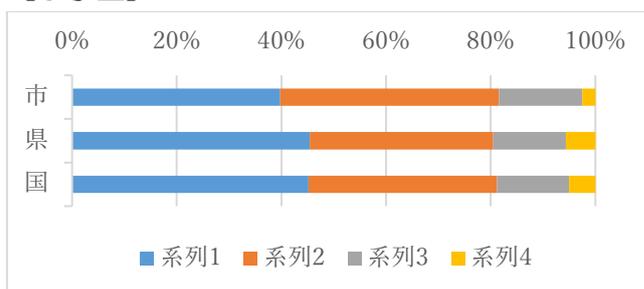
区分	1	2	3	4
市	50.8	37.4	8.6	2.7
県	54.8	34.5	7.6	2.7
国	52.3	36.4	8.3	2.7
県比較	▲ 4.0	2.9	1.0	0
国比較	▲ 1.5	1.0	0.3	0

K 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校は3.3ポイント上回り、中学校はほぼ同等である。

L 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

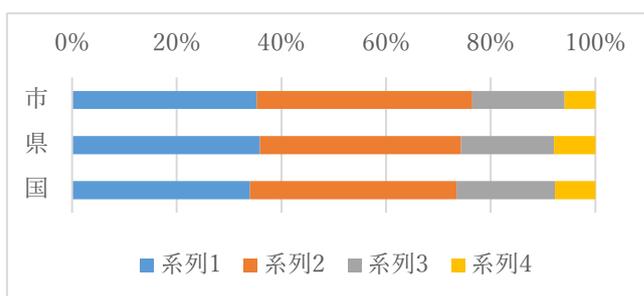
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	39.8	41.8	15.9	2.5
県	45.4	35.0	13.9	5.6
国	45.2	36.0	13.8	5.0
県比較	▲ 5.6	6.8	2.0	▲ 3.1
国比較	▲ 5.4	5.8	2.1	▲ 2.5

【中学生】



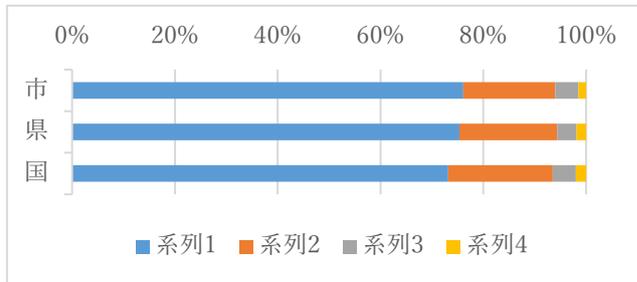
区分	1	2	3	4
市	35.3	41.2	17.6	5.9
県	35.8	38.3	17.7	7.9
国	33.9	39.4	18.8	7.7
県比較	▲ 0.5	2.9	▲ 0.1	▲ 2.0
国比較	1.4	1.8	▲ 1.2	▲ 1.8

L 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では全国とほぼ同等だが、中学校では3.2ポイント上回っている。

M 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

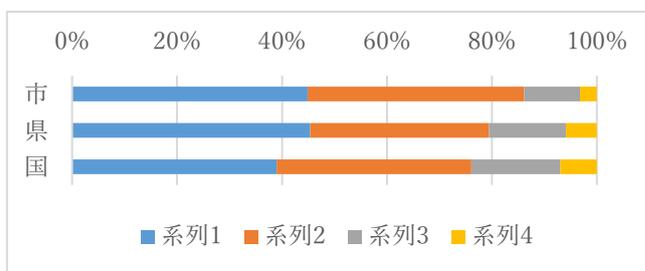
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	76.1	17.9	4.5	1.5
県	75.3	19.0	3.7	1.9
国	73.0	20.3	4.5	2.0
県比較	0.8	▲ 1.1	0.8	▲ 0.4
国比較	3.1	▲ 2.4	0.0	▲ 0.5

【中学生】



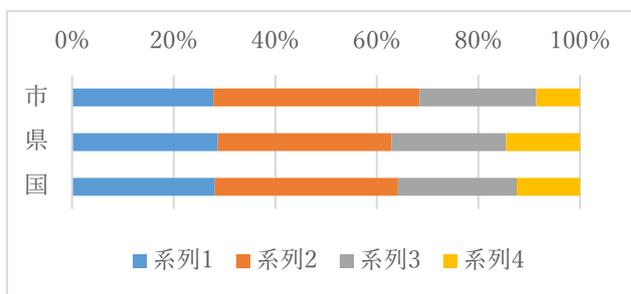
区分	1	2	3	4
市	44.9	41.2	10.7	3.2
県	45.2	33.9	14.6	5.9
国	38.8	37.0	16.9	6.9
県比較	▲ 0.3	7.3	▲ 3.9	▲ 2.7
国比較	6.1	4.2	▲ 6.2	▲ 3.7

M 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では全国とほぼ同等だが、中学校では10.3ポイント上回っている。

N 英語の授業の内容はよくわかりますか。

1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【中学生】



区分	1	2	3	4
市	27.8	40.6	23.0	8.6
県	28.6	34.1	22.5	14.5
国	28.0	35.9	23.3	12.4
県比較	▲ 0.8	6.5	0.5	▲ 5.9
国比較	▲ 0.2	4.7	▲ 0.3	▲ 3.8

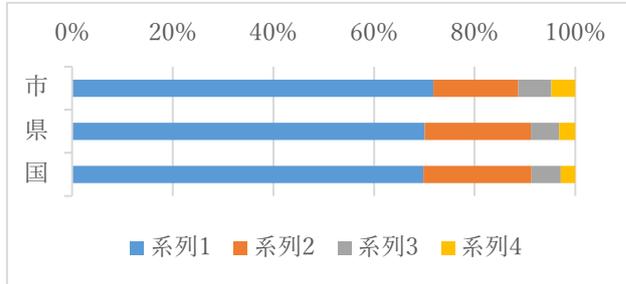
N 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、中学校では全国とほぼ同等だった。

※小学校はこの質問はされていない。

○ 英語の勉強は大切だと思いますか。

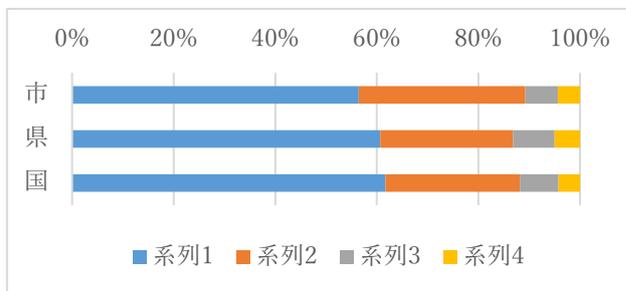
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	76.1	17.9	7.0	5.0
県	69.9	21.1	5.6	3.2
国	69.8	21.5	5.8	2.9
県比較	6.2	▲ 3.2	1.4	1.8
国比較	6.3	▲ 3.6	1.2	2.1

【中学生】



区分	1	2	3	4
市	56.1	32.6	6.4	4.3
県	60.5	26.1	8.1	5.0
国	61.6	26.4	7.6	4.2
県比較	▲ 4.4	6.5	▲ 1.7	▲ 0.7
国比較	▲ 5.5	6.2	▲ 1.2	0.1

○ 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校で全国を2.7ポイント上回っていたが、中学校では全国とほぼ同等だった。